



大原 広巳 議員

高齢者の買い物支援は

町長

引き続き情報収集していく

【大原】地域の商店が減少し、買い物難民の増加が見込まれる。買い物バスなどを検討すべきではないか。

【町長】移動販売車は採算が取れず困難な状況である。

県東部では、スーパーと提携した店舗と在庫を抱えない移動販売もあり、情報収集している。

また、商店が買い物客を送迎する巡回バスを走らせているところもある。検討してみたい。

【大原】佐摩のスーパーマーケットと給油所が、閉店を検討している。地域の核として残せないか。

【町長】民間の事業に直接支援はできない。しかし、まちづくりの観点から、集落や地域自主組織などが運営や利用に参画されるのであれば、町として何らかの協力ができるのではないかと思う。

認知症対策は

町長

普及啓発などを行って

【大原】認知症予防の現状と対策は。

【町長】平成30年度、本町の高齢化率は39・4%で、うち要介護要支援認定率は19・7%であり、ほぼ横ばい傾向である。

町民総健康づくり運動の推進や、認知症の正しい知識の普及啓発

【大原】とっとり方式認知症予防プログラムが、伯耆町で始まった。本町での取り組みは。

【町長】人材を確保しながら、推進していく。

として、町内事業所、学校など各所で認知症サポーター養成講座を行っている。



早期発見・早期治療が重要

児童虐待対策は

教育長

早期発見に努める

【大原】児童虐待相談件数の推移と対策は。

【町長】今年度は現在37件、児童数は63人で、増加傾向となっている。

相談員は、早期発見のため24時間電話対応や、3カ所の子育て支援センターを巡回し、子育てや家庭教育相談を受け付けている。

【教育長】虐待が疑われる時は、ためらわず児童相談所に通告する。

【大原】子育て世代に、さらに家庭教育支援が必要だが、対策は。

【教育長】親育て子育て研修を行い、予防に努める。



親子が孤立しないように

※このほか、農家の設備更新について質問しました。